



TITLE:

# Library Service News No. 82

AUTHOR(S):

京都大学附属図書館情報サービス課

---

CITATION:

京都大学附属図書館情報サービス課. Library Service News No. 82.  
Library Service News 2001, 82

ISSUE DATE:

2001-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/190869>

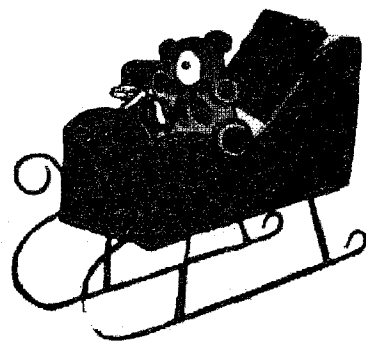
RIGHT:

# 京都大学附属図書館 情報サービス課 Library Service News

●記事についてのお問い合わせは●

Tel. カリタ-  
参考調査掛 (753-2636) 7  
資料運用掛 (753-2632) 2~4  
雑誌・特殊資料掛 (753-2640)  
相互利用掛 (753-2638) 6

- 開館日程表
- 冬季休暇中の長期貸出のご案内
- 共同研究室1を開放しています
- 書庫内図書・雑誌を利用される皆様へ
- 好評開催中！“OPAC基礎講座”
- お使いですか？ 電子ジャーナル
- 新着データベース紹介
- 基本参考図書紹介：『新収洋書総合目録』
- 年末年始のお知らせ 相互利用の申込みはお早めに
- ＜シリーズ＞ 特殊文庫あれこれ ―各論編―



## 開館日程表

12月	開館時間	1月	開館時間	2月	開館時間
1(土)	10:00~17:00	1(火)	年末年始休館	1(金)	9:00~21:00
2(日)	〃	2(水)	〃	2(土)	10:00~17:00
3(月)	9:00~21:00	3(木)	〃	3(日)	〃
4(火)	〃	4(金)	休館日(図書整理等のため)	4(月)	9:00~21:00
5(水)	〃	5(土)	〃	5(火)	〃
6(木)	〃	6(日)	休館日	6(水)	〃
7(金)	〃	7(月)	9:00~17:00	7(木)	〃
8(土)	10:00~17:00	8(火)	9:00~21:00	8(金)	〃
9(日)	〃	9(水)	〃	9(土)	10:00~17:00
10(月)	9:00~21:00	10(木)	〃	10(日)	〃
11(火)	〃	11(金)	〃	11(月)	休館(建国記念の日)
12(水)	〃	12(土)	10:00~17:00	12(火)	9:00~21:00
13(木)	〃	13(日)	〃	13(水)	〃
14(金)	〃	14(月)	休館日(成人の日)	14(木)	〃
15(土)	10:00~17:00	15(火)	9:00~21:00	15(金)	〃
16(日)	〃	16(水)	〃	16(土)	10:00~17:00
17(月)	9:00~21:00	17(木)	〃	17(日)	〃
18(火)	〃	18(金)	〃	18(月)	9:00~21:00
19(水)	〃	19(土)	10:00~17:00	19(火)	〃
20(木)	〃	20(日)	〃	20(水)	〃
21(金)	〃	21(月)	9:00~21:00	21(木)	〃
22(土)	10:00~17:00	22(火)	〃	22(金)	〃
23(日)	〃	23(水)	〃	23(土)	10:00~17:00
24(月)	休館日(振替休日)	24(木)	〃	24(日)	〃
25(火)	休館日(図書整理等のため)	25(金)	〃	25(月)	9:00~21:00
26(水)	〃	26(土)	10:00~17:00	26(火)	〃
27(木)	〃	27(日)	〃	27(水)	〃
28(金)	〃	28(月)	9:00~21:00	28(木)	月末休館日
29(土)	年末年始休館	29(火)	〃		
30(日)	〃	30(水)	〃		
31(月)	〃	31(木)	月末休館日		

●学外者の受付は、平日の9時~17時です。事前に照会のうえ、必ず身分証明書をお持ちください。  
(土・日曜日および平日17時以降は受け付けません。)  
学外者の利用ガイドを発行しましたので、ご利用ください。

お問い合わせ先：資料運用掛(753-2632/2633)



## 冬季休暇中の長期貸出のご案内

開架図書	12月10日(月)～12月23日(日)
書庫内図書 院生・教職員	11月24日(土)～12月14日(金)
学部生	12月10日(月)～12月23日(日)

返却期限日は、いずれも平成14年1月15日(火)です。貸出期間の更新はできません。  
(雑誌は対象外です。)

資料運用掛



## 共同研究室1を開放しています

11月1日(木)より、3階にある共同研究室2室のうち第一室を常時閲覧席として開放します。

利用時間 月～金 9:00～16:45

ただし、教官の方がグループスタディ等での利用を希望される場合は、そちらを優先します。  
なお、教官・院生の方は研究個室(7室、利用時間 月～金 9:00～16:45)が利用できます。  
利用を希望される方は平日の9:00～16:45にカウンターまで申し出てください。

資料運用掛



## 書庫内図書・雑誌を利用される皆様へ

最近、書庫内における配架の乱れが増大しています。  
書庫内図書やBNC雑誌を書架に戻される場合は、必ず請求記号順(背ラベルの番号順)に、元の場所へ戻していただくよう、お願いします。  
なお書庫内の図書・雑誌を持ち出す場合は、書庫から出られる際に必ずカウンターで手続きしてください。

資料運用掛



## 好評開催中！ “OPAC基礎講座”

10月からスタートした“OPAC基礎講座”ですが、11月以降も引き続き開催しています。  
「OPACって何？」という方はもちろん、「OPACなんて知ってるよ」という方も、基本をしっかりと理解して、効果的な検索をしましょう。1回30分程度、一日おきに実施します。予約は不要ですので、開始5分前までに⑦番(参考調査)カウンター前にお越しください。詳しい日程は、館内各所の掲示または下記のURLをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/LSN/opac.html>

参考調査掛



## お使いですか？ 電子ジャーナル

現在、京都大学では3,000誌以上の電子ジャーナルを提供しています。電子ジャーナルはパソコンの画面上から論文そのものを取り出せるので、わざわざ図書館へ足を運ぶ手間が省けて大変便利です。また、最新号を冊子体よりも早く見ることができます。お探しの論文が最近のものなら、電子ジャーナルで利用できないか、まずチェックしてみましょう。

電子図書館から「学内向けサービス」の「電子ジャーナル」をクリックしてください。アルファベット順一覧と分野別一覧を用意しています。

※注意！！ 利用の際には、各出版社の利用許諾条件を必ず遵守してください。  
違反すると、全学の利用者が利用できなくなる恐れがあります。

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/lusr/gakunaiej.html>

参考調査掛



## 新着データベース紹介

PEP(Psychoanalytic Electronic Publishing) Archive 1 v2(1920-1997)

精神分析関係分野の主要誌6種と学会報2誌を収録するデータベースで、およそ31,000の論文に75,000をこえるハイパーリンクがはられ、相互に参照することができます。

電子図書館から「学内向けサービス」の「データベース」をクリックしてください。初めて利用される方はまず検索ソフトをインストールしてください。

### [収録誌一覧]

Journal of the American Psychoanalytic Association (1953-1997)  
International Journal of Psycho-Analysis (1920-1997)  
International Review of Psycho-Analysis (1974-1992)  
Contemporary Psychoanalysis (1964-1997)  
Psychoanalytic Quarterly (1932-1997)  
Psychoanalytic Study of the Child (1945-1997)  
Bulletins of the American Psychoanalytic Association (1953-1987)  
Bulletins of the International Psycho-Analytical Association (1923-1996)

参考調査掛



## 基本参考図書紹介：『新収洋書総合目録』

洋書を探していて、京大OPACでもカード目録でもNACSIS Webcatでも見つからない時、「もう国内にはないんだ」とあきらめていませんか？

『新収洋書総合目録』は日本の主要な大学がその年に受け入れた洋書のカード目録を集めたもので、ここで見つければ、所蔵大学に相互利用の申し込みをすることができます。収録範囲は1958-1987年に受け入れられた（「出版された」ではありません！）洋書です。比較的古い洋書をお探しの時は、この『新収洋書総合目録』もぜひ活用してください。

（なお、国立国会図書館所蔵分は『国立国会図書館蔵書目録洋書編』『国立国会図書館所蔵洋書目録』で検索できます。）

参考調査掛



## 年末年始のお知らせ 相互利用の申込みはお早めに

年末年始のオンラインシステムの停止にともない、本図書館の年内の受付は12月21日(金)まで行い、年始は1月7日(月)から再開します。

年内に資料が必要な場合は、余裕をもってお早めにお申込みください。

また、借用中の図書で年内期限のものは必ず12月21日(金)までに返却してください。

相互利用掛



## <シリーズ> 特殊文庫あれこれ ―各論編―

### (2) 菊亭文庫

菊亭文庫は、菊亭家相伝の文書・典籍の収集されたもので、1921(大正10)年11月に図書872部1,326冊、1923(大正12)年12月には図書38部43冊および文書822部と、二度にわたって故菊亭公戸侯爵より永久寄託されたものである。

菊亭家は、鎌倉時代に西園寺実兼の四男兼季(1281-1329)を祖として興った家で、今出川家とも菊亭家とも称した。五摂家に次ぐ八清家の一つに列なり、累代、大臣・納言に伍するものが特に多い名門である。琵琶の演奏を家職とする等、楽の家としての家柄も古く、蔵書中にも楽譜・歌詞等古楽に関する貴重な資料が含まれている。『御琵琶誓状案』『琵琶許状』『琵琶秘曲伝授事』『琵琶入門誓紙』等琵琶の演奏法に関するもの、『催馬楽譜』『箏譜』『奏琴要録』『仁智要録』『文机談』『楽道伝授状』等音楽、楽器に関するものなど稀書珍籍が豊富である。『文机談』は跋文に「琵琶相承の次第を挙る所也」とあるように、琵琶伝授の系図に添って、平安初期の廉承武・藤原貞敏から鎌倉中期の藤原孝時、その父孝道、孝道の周辺に詳しいのはもちろん、琵琶のみでなく、笛・箏や、朗詠・催馬楽等の歌謡の事にも触れており、知足院藤原忠実・妙音院藤原師長ら諸芸に堪能な貴族の庇護奨励のもとに栄えた平安末期から鎌倉中期の芸道の実態、諸道の流派の発生等を知る上で貴重な資料である。

しかし、これらにも増してこの文庫を特長づけているのは、古記録類が多く蔵されていることである。古記録は史実を知る上のもっとも確実な資料・典拠として学問的に高く評価されるのであるが、文庫には平安から江戸にわたる各時代の古記録が極めて幅広く豊富に含まれている。記録類としては、『伊勢外宮正遷宮』『春日祭次第』等の神祇行事、『改元勘文』『節会次第』『三節会部類記』『禁中年中行事』等近世宮廷生活の記録類がある。また、日記類としては『建内記』等があり、『惟房公記』は天文10年から11年にかけてのもので万里小路惟房の自筆になり、同様に『薩戒記』は嘉吉1年8月、中山の自筆、『教忠卿記』は嘉吉3年5月、『言国卿記』は文明8年冬、『言継卿記』は天正4年、山科言継の自筆になるものである。『建内記』は応永35年から文安1年にかけてのもので万里小路時房自筆の日記である。時房の法号建聖院と極官の内大臣とに因み、後に『建聖院内府記』と呼ばれ、略して『建内記』と呼ばれている。別に「建相記」「時房公記」の称もある。1414(応永21)年から1455(康正1)年までの記事が断続して現存している。時房は南都伝奏や武家伝奏を勤めたため、公武の要事をはじめ、勧修寺一門の交友、家領の紛争、家族の事柄など、筆まめに録していて、『看聞御記』『満濟准后日記』とともに、この時代の代表的日記とされる。現在知られている諸本のうち、5巻5冊本は、蔵菊亭本をはじめ数種が確認されているが、菊亭本は、伝隆円自筆本で、紙背の書状などから、鎌倉末期写と推定される最古写本である。

なお、菊亭文庫はこれら寄託資料以外にも1952(昭和27)年に購入された資料112点988冊が普通書として附属図書館に所蔵・配架されているが、これら普通書を含めた文庫全体の学術・研究に対する利用価値はさらに大きいものがあると言えよう。

雑誌・特殊資料掛

